



石神小だより

6月号 令和3年6月1日発行
352-0033 新座市石神1-10-20
Tel 048(477)2152
Fax 048(482)6797
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-ishigami>

きまりとマナー 学校から社会へ

校長 佐久間 幸代

天候によって、日中気温がたかくなったり、夕方になると冷たい風が吹き始めたりと梅雨を前に、不安定なじめじめした天候が続いています。5月末は、個人面談にご協力いただきありがとうございます。年度当初にご家庭と情報を共有し、児童を中心とした連携を深めることができました。(SDG s 17)

児童は、5時間で下校する日が続き、体への負担が少し軽減されたように見受けられました。これからさらに湿度が高くなることが予想されます。規則正しい生活をし、体調管理にご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。(SDG s 3)

これから、昨年度実施できなかった体力テ

ストや水泳の授業が予定されています。残念ながら、校外へ出での活動は難しく、1学期は見合わせる事となっております。以前と同じ活動は難しいけれど、工夫することのできることは、たくさんあると思います。例えば水泳の学習は、安全確保のため、教員が3名必要です。しかし、感染症拡大防止のために、更衣室やプールは、1学級での使用となります。そのために、特別時間割を設定し、各学年を2週間で割り振り、時差で各学級が入水することで、密を避けるようなプランを体育部の先生方が考えてくれました。安全に楽しい学習にしていきたいと思ひます。

(SDG s 4)

「学校のきまり」から「健やかな成長のために」へ

今年度、「学校のきまり」を大幅に見直しました。1つ1つのことについて、どうするかを示していたこれまでの「学校のきまり」とは違い、持ち物や行動、態度について、あるべきものを自分で考えたり判断したりできるように示し方を工夫しました。

では、書かれていないことは自由なのか、自分で判断するのなら、自分の都合のよい考えがまかり通るのかということ、そうではありません。すべてを学校で決めて、理由もわからず、ただその通りやる時代は終わり、子供なりに時や場に応じた適切な行動、態度ができるような社会全体の考え方にそっての示し方に移行したということなのです。学校とは集団で学び、人間関係を構築したり体力を向上させたりする場であり、小学校は一般社会を小さくし、発達段階に見合った社会性と学力、体力等を身に付ける場所であることから、「健やかな成長のために」を基盤として、物事を考え、判断していくことが大切だと考えています。そのために、学校と家庭、地域の共通理解・共通行動をぜひよろしくお願いいたします。

(SDG s 4,16,17)

